

## 志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会 第３回検討会の開催状況について

### １ 第３回検討会の開催状況

#### （１）検討会の内容等

令和３年７月２９日（木）午後６時１５分より、グリーンカレッジホールにて第３回検討会を開催した。

##### 《議題》

##### １ 会長あいさつ

##### ２ 説明事項

- （１）第２回検討会（書面開催）の報告について
- （２）第１回・第２回 通学区域・通学路作業部会の報告について
- （３）跡地活用に関する報告について

#### （２）議事要旨

##### 《議題》

##### １ 会長あいさつ

##### ２ 説明事項

- （１）第２回検討会（書面開催）の報告について

第２回書面開催における検討会委員から出た意見の共有及び意見交換を行った。

※別紙１：検討会資料１「第２回検討会（書面開催）の報告について」

- （２）第１回・第２回 通学区域・通学路作業部会の報告について

第１回、第２回の通学区域・通学路作業部会の報告及び同作業部会で作成した志村小学校の通学区域変更案について説明し、検討を行った。

検討の結果、次回の同作業部会において、変更に関係のある小学校の学校長及びＰＴＡ代表者を交えて検討を行うことが決定した。

※別紙３：検討会資料２（別紙①）「志村小周辺の通学区域図」

- （３）跡地活用に関する報告について

借地部分の返還方法、志村小学校の移転に伴う避難所の取扱いについて報告し、区有地部分の主たる活用方法に関して意見交換を行った。

※別紙３：検討会資料３「志村小学校の跡地活用に関する報告事項」

### 3 これまでの検討会開催経過

回	開催月日	内容
第1回	令和3年2月4日	●会の委員、会則、運営について、会長の選出 ●協議会意見書の内容確認 ●検討会の検討スケジュール ●跡地活用に関する報告事項
第2回	令和3年4月27日	●検討会と作業部会の運営について ●説明会及び意見募集の概要と意見・質問について ※緊急事態宣言再発令に伴い、書面開催とした。

### 4 次回検討会の予定

令和3年10月上旬の開催を予定している。

## 第 2 回検討会（書面開催）の報告について

第 2 回検討会について、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令に伴い、書面開催となった。書面開催の内容について、以下のとおり報告する。

### 1 開催日時

令和 3 年 4 月 27 日（火）

【委員からの意見取りまとめ期間：令和 3 年 4 月 27 日（火）～同年 5 月 12 日（水）】

### 2 開催方法

書面による会議

### 3 出席者

検討会委員 22 名

### 4 配付資料

第 2 回検討会資料

- 第 2 回次第
- 志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会 委員名簿【資料 1】
- 志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会 作業部会員名簿【資料 2】
- 「志村小・志村四中 小中一貫型学校説明会」と「意見募集」の意見・質問について【資料 3】
- 志村小学校・志村第四中学校 小中一貫型学校説明会【別添】

### 5 検討会委員の意見等

※「分類」と「頁」は第 2 回検討会資料の資料 3 の該当箇所になる。「補足」については、「6 事務局からの補足」がある場合に、○がついている。

通番	分類	頁	補足	質問・感想・意見等
1	学校運営	8	○	授業時間が小学校と中学校で違うため、一方が授業時間の時に、一方が休み時間や移動時間にあたるという課題はあると思う。 他自治体の小中一貫型の学校の例では、原則ノーチャイムとしているところもあると聞いたことがある。他自治体の先行事例を研究し、検討していくことで、課題を解決していく必要があると思う。 板橋区の小・中学校でもノーチャイムを実施している学校はあるか。
2	学校運営	8	—	小学校高学年と中学生が同じフロアの場合、定期考査の時は配慮が必要であると思う。小学校高学年の児童であれば、説明すれば理解できると思う。 他自治体の小中一貫型の学校の事例を参考に検討していく必要がある。
3	特別支援学級	8	○	小中一貫型の学校は、小・中学校 9 年間を通したより良い特別支援教育ができる。 新しい環境に不安やストレスを感じやすい特別支援学級の子どもたちにとって、小・中学校が同じ施設にあり、先生や友達等、関わる方の多くが知り合いであることは学校生活を安心して送ることができる重要な要素の一つだと思う。

通番	分類	頁	補足	質問・感想・意見等
4	通学路・通学区域・学校選択	8、9	－	志村小は歴史と伝統のある学校で、親子三代で志村小に通っている方も多くいる。通学区域の変更に関しては、事前に丁寧に説明し、実施するという配慮が必要だと思う。
5	志村小以外の小学校から志村四中へ進学することの心配	9	－	学びのエリアの中で、行事や部活動の交流の機会をつくることで、ある程度解消できると思う。
6	教育内容	9	－	小学生と中学生が同じ校舎になり、交流活動が深まれば、小学生にとっては、自分の近い将来をイメージしやすくなる。また、交流活動によって小・中学生ともに自己肯定感を高めることができる。基本的には、小学校6年間、中学校3年間という学年の段階の区切りは変わらないので大きな変更はないが、良い条件を加えることができると思う。
7	学校名	10	○	説明会の中で学校名が存続しないのではないかとといった質問や不安な声があった。 検討会の検討項目の「学校名に関する事項」について説明していく必要があると思う。
8	教職員や児童・生徒の意見反映	13	○	関心を頂いているからこそその貴重なご意見・ご質問だと思う。「魅力ある学校づくり」の魅力とは、児童・生徒にとっての魅力が第一であると考え、子どもたちにも関心を持ってもらい、子どもたちの意見も取り入れて検討することで、より魅力ある学校づくりに取り組めると思う。
9	全般		－	小中一貫型の学校に関して、今後、不安・心配や課題、そして期待する点なども出てくると思う。

## 6 事務局からの補足

### 【通番1】

他自治体の先行事例では、原則ノーチャイムにし、中休みや給食の時間を調整することで、1校時と3校時の開始時間を合わせ、一定の時間で同じ流れになるように工夫しているところもあります。

また、板橋区内の学校では、すでにノーチャイムを実施している学校もあります。ノーチャイムを実施したことにより、児童が時間を意識して行動できるようになり、自立性の面で効果があるとのことでした。

他自治体の先行事例や区内の学校の取組事例を参考にし、学校運営の中で調整し、対応していくことで授業時間の違いによる課題を解決していきたいと考えています。

### 【通番3】

施設一体型の利点を生かし、9年間を通した特別支援教育は効果的であると認識しています。小・中学校の施設が一体で、同じ環境で9年間を通した支援・指導により、効果的な取組を支援していきます。

**【通番 7】**

協議会から提出された意見書には、「志村小学校、志村第四中学校ともに歴史を踏まえて学校名を残すことを検討すること」とあり、意見書の内容を最大限に尊重し、志村小・志村四中のそれぞれ学校名を残します。その上で、検討会や作業部会では統一名称の必要性から検討していきます。

※他区の小中一貫型の学校の事例

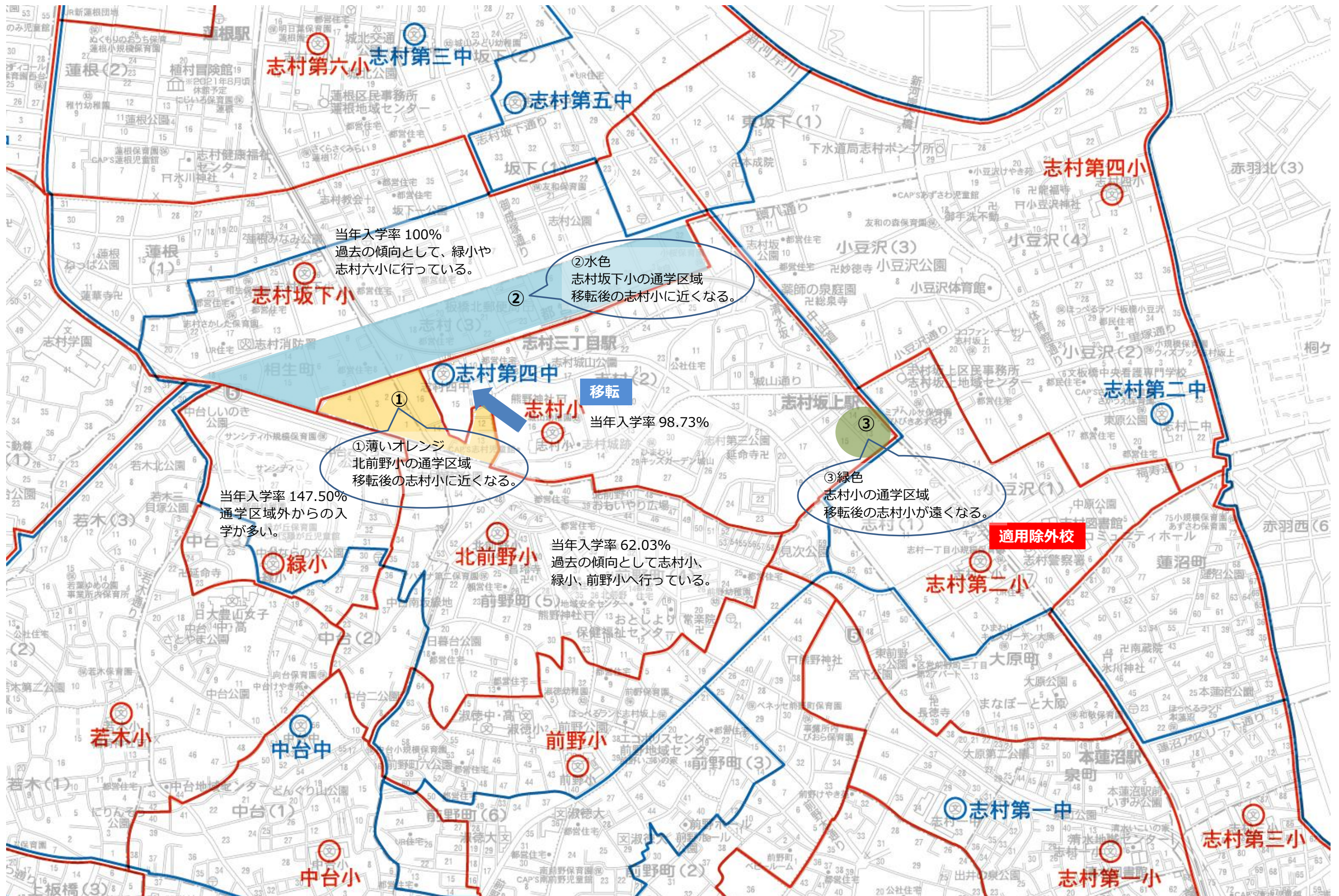
例：〇〇学園 〇〇小学校・〇〇中学校

〇〇学園といった統一名称の後に、それぞれの学校名を残している。

**【通番 8】**

ご意見のとおり、児童・生徒にとっての魅力が第一であると考えています。基本構想・基本計画等では、子どもたちにアンケート等を実施し、子どもたちの意見を取り入れて、検討を進めていきたいと考えています。







## 志村小学校の跡地活用に関する報告事項

### 1 借地の返還について

借地部分については、原状回復のための解体作業を行ったうえで、更地にして返還する方向で調整をしている。

### 2 避難所の取扱い

志村小学校の避難所指定は、感染症対策の部屋、配慮が必要な方のスペース、着がえスペース、備蓄物資の保管倉庫なども考慮され、体育館と校舎部分を含めて避難所指定されている。

そのため、志村小学校が現志村第四中学校の校地に建設する施設一体型の小中一貫型の学校へ移転した後は、志村小学校の避難所指定は解除され、近隣の小中学校が避難所となる。

なお、志村小学校が現志村第四中学校の校地に建設する施設一体型の小中一貫型の学校へ移転するまでは、現状のとおりとなる。

### 3 避難先について

避難所の指定はあるが、避難先は指定されていないため、近隣の避難所に避難することが想定される。近隣には、志村第四中学校、志村第二小学校、志村第四小学校、北前野小学校等が避難所の指定をされているため、避難先になる。

### 4 跡地活用の検討に向けて

今後、跡地活用の検討を行うにあたっては、区有地部分の主たる活用方法を検討していく必要がある。